



2017年ご案内

開催日：5/19～5/21/2017

会場：シカゴコンベンションセンター

第20回目Anime Centralへようこそ。Anime Central（略称：ACen）は3日間に及び2016年入場者数31,469人（延べ数88,927人）を集客する北米3大アニメ、漫画及びJ-POPコンベンションです。今年もシカゴ市郊外のローズmont、オハラ国際空港ターミナルより5分に位置しています。Acenの使命の一環として、アニメ、マンガ、ゲーム、映画、アジア文化等日本とアメリカからの代表ブランド及びファンが一同に集まる盛大なイベントです。ACenの運営後援は非営利団体Midwest Animation Promotion Societyです。

毎年ACenはシカゴに素晴らしい企業パートナーと共に恒例の大イベントの「ノリ」を毎年守りつつ来場者を歓迎しております。ユニークなファミリー的で優しい環境の中でアニメ、マンガ、ゲーム、音楽等、J-POP文化を来場者やファンにご披露します。このイベントでは、ブランド出展社、パネル・ディスカッション、サイン会、アーティスト、文化ゲスト、独占プレミア、スクリーニング、音楽やダンスイベント等が行われ、こよなく愛する文化に没頭する参加者とコミュニケーション出来る機会です。

多くの来場者はACenを期待して一年間溜め込んだお金をこのイベントにつき込む程、彼らなりの一年間の休日として集まります。彼らは業界やブランド企業と交流し、新しい動きを期待してブースで一位の商品を探します。常に何か活動が期待出来、すべてのファンが盛り上げる興奮は素晴らしい経験となります。

出展社

展示会場は広大なスペースを使用した物販ディーラーが誇らしげにディスプレイするに相応しい会場です。各賑やかなブースは、メディアやグッズから衣装や衣服まであらゆるものを提供します。ユニークな日本のアイテムを探しているファンにとっては、笑顔が絶えません。

Artist Alley

ACenでは米国最大のアーティストブース会場の一つとして誇っております。有望な芸術家、熟練した職人、小さなスタジオが集まり、独特な組み合わせに溶け込んでいます。来場者は手作りの製品、オリジナルアート、をクリエイターと対話しながら閲覧する事が出来ます。

パネル

パネル ディスカッションでは各アジア文化のトピックについての情報や話題を持った展示会の支えとなる業界の教養を得る格好の場です。講演者はファン、業界関係者、そして名誉ゲストが一同に集まってその考えや情熱を共有出来、聴衆とパネラーが双方共にユニークな体験が出来ます。

ゲーム

来場者はゲームを行ったりラックスするのが大好きです。アクションにれたダンス系や格闘技ゲームから、落ち着いたロールプレイングゲーム等ありとあらゆるゲームに日夜問わず24時間没頭できます。

ナイトライフ

ACenのハイライトでもあるダンスシーンは、北米のコンベンションの中でもユニークなイベントです。金曜日は日本が提供する最高の国際DJを数多く取り揃えています。土曜日のソープバブルことシャボン玉の中で踊るハードコア、ハウス、ドラム&ベース等を楽しむ事ができます。

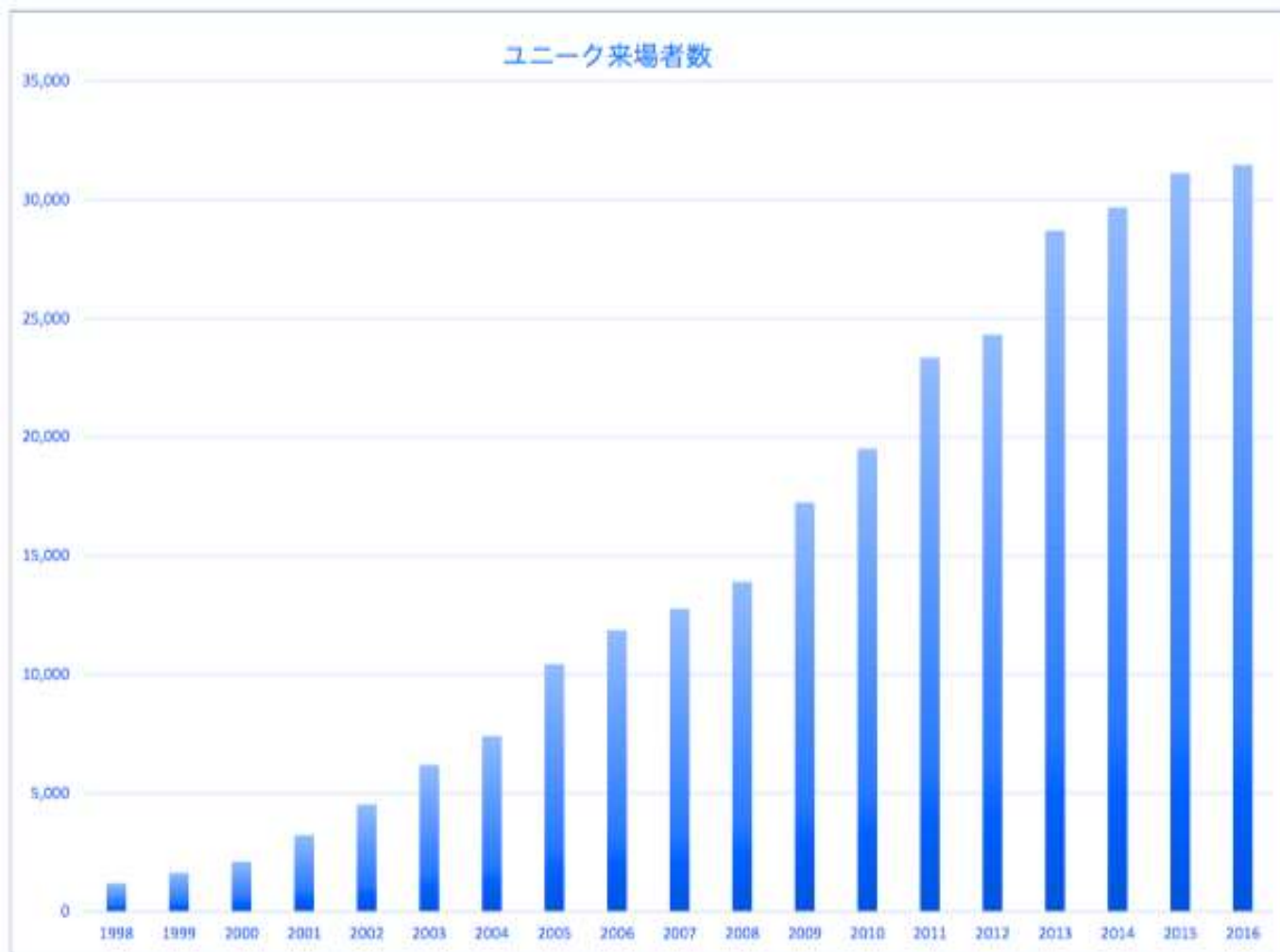


animecentral

THE MIDWEST ANIME AND MANGA CONVENTION

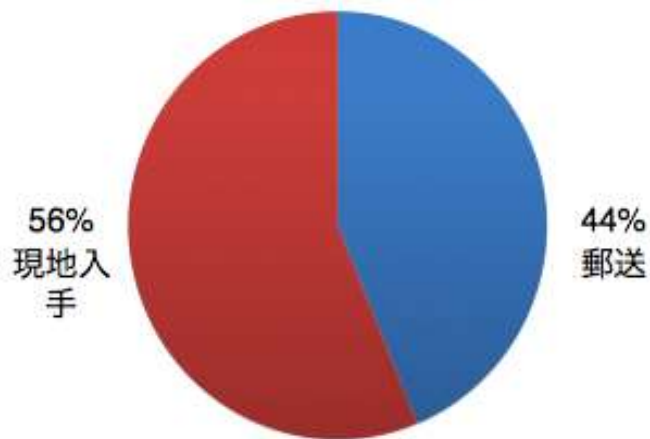
ACen 2017
企業協賛パートナー



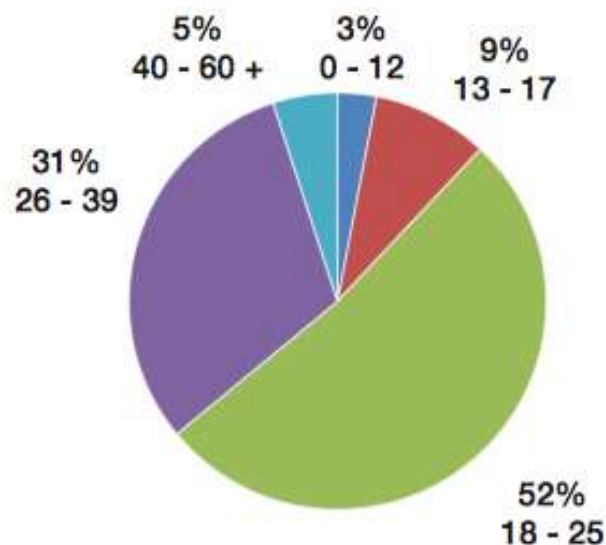


年	ユニーク来場者数	累計来場者数
1998	1,203	N/A
1999	1,640	N/A
2000	2,117	N/A
2001	3,232	N/A
2002	4,520	N/A
2003	6,190	N/A
2004	7,406	N/A
2005	10,434	N/A
2006	11,866	N/A
2007	12,769	N/A
2008	13,900	N/A
2009	17,249	N/A
2010	19,511	53,228
2011	23,353	64,239
2012	24,316	67,644
2013	28,692	79,310
2014	29,675	81,325
2015	31,113	85,295
2016	31,469	88,927
2017	TBA	TBA

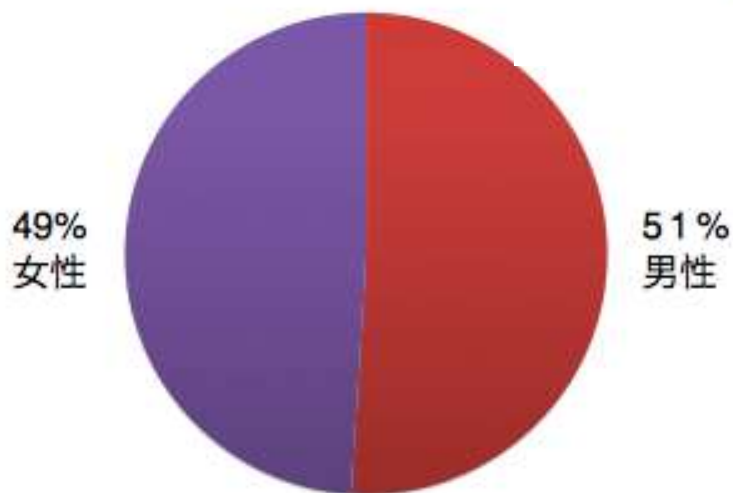
入場券入手方法



年齢



性別



入場者増加率



SNS

AnimeCentral は北米アニメや漫画コンベンションの内、SNS活動によるフォロワーがFacebook, Twitterを含めて最大且つ活発なです。Anime Central のSNS活動はフォロワーに最新情報及びシカゴ 周辺以外の地域を含む専門コミュニティを構築しています。

入場者ニューズレター

Anime Central のニューズレターは入場者及び申込者に配信し、ゲスト出演、プレミア出展社の供給内容、スケジュール情報、アーティストや出展社の発表、及び展示会の予告編を紹介します。

ニューズレター配信数： 600,000人
平均開封率 (10・2016)：32%

携帯アプリ

携帯アプリは24時間何時でもアクセス出来るACenに関する全ての情報で満載。内容はリスティング、会場見取り図、講演やパネル予定表、ゲスト写真とプロフィール、Twitter、Facebookリンク、各イベントのリヤルタイム更新等々。

ユニークDL数：20,900、回覧数：217,044
アプリに費やす時間総数：15,814,795



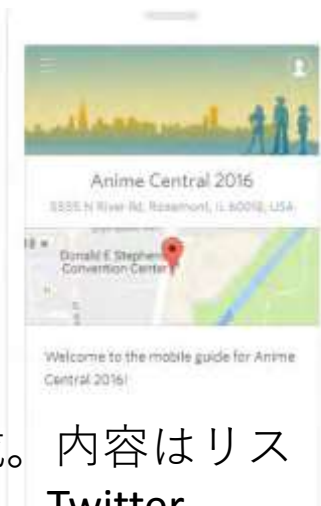
87,000人
facebook.com/AnimeCentral



11,400人
<http://goo.gl/5x4iWY>



39,200人
twitter.com/animecentral



第一回Anime Central より、これまでに世界中から集まったゲストパーソナリティ

Aaron Dismuke, Amanda Winn Lee, Amy Howard-Wilson, Ananth Panagariya, Angela, Aoi Kidokoro, Arnie Roth, Asuka, August Hahn, Aural Vampire, Beau Billingslea, Bob Shirohata, Brad Swaile, Brett Weaver, Brina Palencia, Brittney Karbowski, Bruce Lewis, Bryn Apprill, C-Show, Caitlin Glass, Carl Gustav Horn, Carli Mosier, Cassandra Lee Morris, Chiaki Takahashi, Chiwa Saito, Chris Ayers, Chris Bevins, Chris Cason, Chris Patton, Chris Sabat, Christine Marie Cabanos, Christopher Ayres, Clarine Harp, Colleen Clinkenbeard, Crispin Freeman, Cristina Vee, Da/Le, Daniel Cogan, Daniela Orrù, Daniela Serri, Darrel Guilbeau, David Fleming, DJ 100mado, DJ Chucky, DJ HeavyGrinder, DJ SHARPNEL, DJ SHIMAMURA, DM Ashura, Doug Smith, Echi, Eir Aoi, Emily DeJesus, Emily Neves, Eric Maruscak, Erica Lindbeck, Erica Mendez, EYESHINE, Flow, Fred Gallagher, Fred Perry, Fumiko Kawamura, Fumio Iida, Gashicon, Hangry&Angry, Greg Ayres, Greg Weisman, Guhroovy, h.Naoto, Halcali, Hannah Alcorn, Haruka, Helen McCarthy, Hideko Tamura Snider, Hidenori Matsubara, Hideyuki Kurata, High and Mighty Color, Hilary Haag, Hiroaki Gohda, Hiroaki Inoue, Hiroaki Takeuchi, Hiromi Matsushita, Hiroshi Koujina, Hiroshi Tada, Ian McConville, Ian Sinclair, Imeruat, Iruma Rioka, J. Michael Tatum, J. Torres, J.L. Anderson, Jamie Marchi, Jamie McGonnigal, Jan Scott-Frazier, Jason David Frank, Jason Gray-Stanford, Jeff Moy, Jeff Nimoy, Jessica Calvello, Jillian Cogan, Joel McDonald, John Bivens, Johnny Yong Bosch, Josh Elder, Josh Elder Quinton Flynn, Josh Grelle, Juliet Cesario, Junko Mizuno, Kalafina, KAN TAKAHIKO, Kara Dennison, Karan Ashley, Kari Wahlgren, Kazuko Tadano, Kazuyoshi Katayama, Kelli Cousins, Ken Akamatsu, Kenichi Sonoda, Kerry Freedman, Kia Asamiya, Kirk Thornton, KO3, Koji Ide, Koji Masunari, Kosuke Saito, Kouhei Tanaka, Kumiko Kato, Kyle Hebert, Kyle McCarley, Laura Bailey, Lisa Furukawa, Lisa Ortiz, LM.C, Maki, Mamoru Yokota, Mari Iijima, Mark Hildreth, Mary Elizabeth McGlynn, Masao Maruyama, Masashi Hamauzu, Masashi Ishihama, Masazumi Kato, Matt Boyd, Matt Greenfield, Maya Okamoto, Max Mittelman, Michael "Mookie" Terracciano, Mika Akitaka, Mika Nomura, Mike McFarland, Mike Sinterniklaas, Mint NeKo, Misako Rocks!, Mohammad "Hawk" Haque, Monica Rial, move, M-Project, Mr. Kouki Uchiyama, Ms. Kaori Nazuka, Ms. Narumi Takahira, Ms. Yumiko Kobayashi, murAta Yuzi, Na-Ga, Naoto Hirooka, NO+CHIN, Nobuo Uematsu, Noriyuki Zinguzi, Ono Yoichiro, Pa's Lam System, Patrick Drazen, Patrick Seitz, Peelande-Z, Philip Moy, PLID, Quinton Flynn, Rachael Lillis, Range Murata, Raveman, Relect, Rhea Silvan, Richard Ian Cox, RinRin, Robert Axelrod, Robert DeJesus, Rosearik Rikki Simons, Russell Lissau, Saki, Sally Suzuki, Sarah Alys Lindholm, Satoru Akahori, Satoshi Ishino, Scott McNeil, Scott Simpson, Shinichi Watanabe, Shinji Orito, Shuzilow.HA, SID, Sixh., Sixh.IBI, Sonny Strait, Spike Spencer, Spiral Spiders, Spooky Bards, Stephanie Sheh, Steve Bennett, Steve Blum, Steve Cardenas, Steve Downes, Steve Horton, Steve Pearl, Steve Yun, Sunao Katabuchi, SWEK, Takahiro Baba, Takeshi Honda, Taku Iwasaki, Taku Takahashi, Taliesin Jaffe, Taraku Uon, Tavisha Wolfgarth-Simons, Tetsuya Aoki, The Penny Lane All Stars, The Pillows, The Slants, The Spooky Bards, Tia Ballard, Tiffany Grant, Todd Haberkorn, Tomonori Ochikoshi, Toshifumi Yoshida, Toshihiro Kawamoto, Travis Willingham, Trevor Mueller, Trish Ledoux, Troy Baker, Tsukasa Kotobuki, TsuShiMaMiRe, Ugimi Umahara, Ujico*/Snail's House, Vic Mignogna, Video Game Orchestra, Voices For, Wake Up Girls!, Wendy Powell, Xero Reynolds, Yamila Abraham, Yasuhiro Koshi, Yasuhiro Nightow, Yasuhisa Kato, Yasunori Ide, Yoko Ishida, Yoshiki Hayashi, Yoshiki of X-Japan, Yoshitoshi Abe, You Higur, Yuji Moriyama, Yukino, Yuko Ashizawa, Yûko Minaguchi, Yusuke Wakamisho, Yutaka Yamamoto, Yutaka Yoshizawa, Yuu Asakawa, and Zach Bolton.



Hyatt Regency O'Hare
9300 Bryn Mawr Avenue
Rosemont, IL 60018 USA
+1-847-1234

会場面積： 10,400m²
総客室数： 1,099



Donald E. Stephens
Convention Center
5555 N. River Rd.
Rosemont, IL 60018 USA
+1-847-692-2222

会場面積： 78,000m²



Rosemont Theater
5400 N. River Rd.
Rosemont, IL 60018 USA
+1-847-671-5100

客席数： 4,400人



運営管理事務所

65 E. Palatine Rd, Suite 301
Prospect Heights, IL 60070 USA

出展、宣伝、スポンサー責任者

Phillip Ward-Schmidt
Exhibit Space Department Manager
Email: Phillipws.maps@acen.org
Phone: 312-772-2236
Fax: 847-489-9300

企業協賛、招待責任者

Ken Leiding
Email: Ken.Leiding@acen.org
Fax: 847-789-9300

プレス・メディア広報マネージャー

Eric Leitzen
Email: press@acen.org
Fax : 847-789-9300

広告

Email: advertising@acen.org

全米各地で、毎年多数のアニメコンベンションが開催

全米主要都市各地で、年間10本を超えるアニメコンベンションが開催されています。
数万人規模を動員するものから、中には10万人、15万人を超える規模で開催するコンベンションもあり、その規模は全米で拡大しています。



OTAKON VEGAS (オタコンベガス)
ラスベガス、動員: 約2,500人



ANIME EXPO (アニメエキスポ)
ラスベガス、動員: 約100,000人



Kawaii Kon (カワイイコン)
ホノルル、動員: 約10,000人



OTAKON (オタコン)
ワシントンDC、動員: 約25,000人



Sakura Con (サクラコン)
シアトル、動員: 約23,000人



MATSURIKON (オタコン)
コロンバス、動員: 約18,000人



anime central (アニメセントラル)
シカゴ、動員: 約40,000人



Anime Weekend Atlanta
(アニメウィークエンド アトランタ)
アトランタ 動員: 約25,000人



MomoCon (モモコン)
アトランタ、動員: 約22,000人



Ikkikon (イッキコン) オースティン、動員: 約7,000人



NY COMIC-CON (NYコミコン)
ニューヨーク 動員: 約150,000人



Colossalcon (コロッサルコン)
オハイオ 動員: 約17,000人

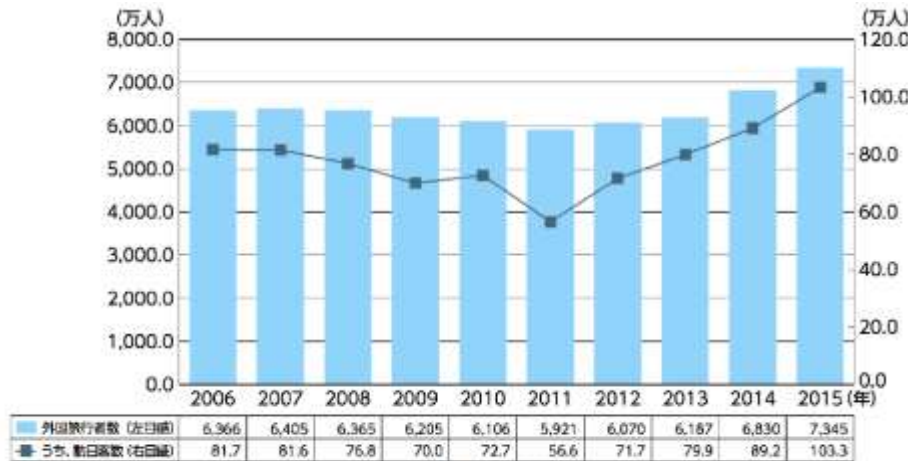


SAN DIEGO COMIC-CON (サン
ディエゴ コミコン) サンディエ
ゴ、動員: 180,000人

米国人の3人に1人が「ポップカルチャー目的」で訪日。

米国人の訪日観光客数は2011年以降伸長傾向にあります。日本政府観光局の最新訪日旅行者調査「JNTO訪日旅行データハンドブック2016」によると、「日本食」や「日本酒」など、ベーシックな訪日目的はもちろん、「映画・アニメ縁の地を訪問」が約10人に1人(9.4%)、特に訪日米国人の約3人に1人(28.9%)が「日本のポップカルチャーを楽しむ」を目的にしている結果が出ています。

米国人の外国旅行者数と訪日客数の推移(2006年~2015年)



注：外国旅行者数には、メキシコ行きの日帰り客と、メキシコ以外へ向かい1泊以上の旅行者が含まれている。
 出典：国際観光機関 (IUNWTO)、日本政府観光局 (JNTO) 等



米国人が今回の訪日旅行でしたこと(2015年)

	単位：%	
	全目的	観光目的
日本食を食べること	97.9	99.3
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	62.1	62.9
旅館に宿泊	21.9	31.8
温泉入浴	19.7	29.6
自然・景勝地観光	54.6	75.4
繁華街の街歩き	65.3	79.4
ショッピング	64.9	78.9
美術館・博物館	31.4	46.2
テーマパーク	10.3	14.0
スキー・スノーボード	2.6	3.7
その他スポーツ (ゴルフ等)	3.0	1.9
舞台鑑賞 (歌舞伎・演劇・音楽等)	8.9	11.7
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	4.9	5.4
自然体験ツアー・農漁村体験	8.9	13.2
四季の体験 (花見・紅葉・雪見)	12.2	15.9
映画・アニメ縁の地を訪問	6.4	9.4
日本の歴史・伝統文化体験	49.0	65.7
日本の口物生活体験	43.4	52.5
日本のポップカルチャーを楽しむ	20.3	28.9
治療・健診	2.1	1.2
上記には当てはまるものがない	0.8	0.0

※上の数値は、全て複数回答の結果である。
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査(平成27年)」に基づき日本政府観光局 (JNTO) が作成



日本発信の米国向けポップカルチャー情報源の不足

対して、「JNTO訪日旅行データハンドブック2016」を見ると、多くの訪日米国人が「トリップアドバイザー」等の情報サイト以外に、「日本在住の親族・知人」を主な旅行情報源としていることから、ポップカルチャーを目的している3人に1人の米国人にとっては、専門情報源が不足している(=ポップカルチャー専門のメディアの不在)が伺えます。

米国人が訪日旅行前に役立った旅行情報源(2015年)

	単位：%	
	全目的	観光目的
日本政府観光局ホームページ	9.1	13.8
旅行会社ホームページ	9.8	12.8
宿泊施設ホームページ	16.5	22.7
航空会社ホームページ	13.7	17.7
地方観光協会ホームページ	5.0	7.5
宿泊予約サイト	6.7	9.6
口コミサイト(トリップアドバイザー等)	21.9	33.7
SNS(Facebook/Twitter/微信等)	6.6	9.1
個人のブログ	13.1	21.5
動画サイト(YouTube/土豆網等)	6.9	10.2
その他インターネット	11.1	12.2
日本政府観光局の案内所	1.6	3.4
旅行会社パンフレット	4.1	6.3
旅行ガイドブック	16.4	26.3
自国の知族・知人	22.9	29.7
日本在住の親族・知人	36.2	29.2
旅行の展示会や見本市	0.6	0.6
テレビ番組	4.7	7.2
新聞	1.4	2.2
旅行専門誌	6.3	10.1
その他雑誌	0.7	0.8
その他	6.2	4.3
特になし	14.4	6.1

※上の数値は、全て複数回答の結果である。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査(平成27年)」に基づき日本政府観光局(JNTO)が作成

米国人が訪日旅行中に役立った旅行情報源(2015年)

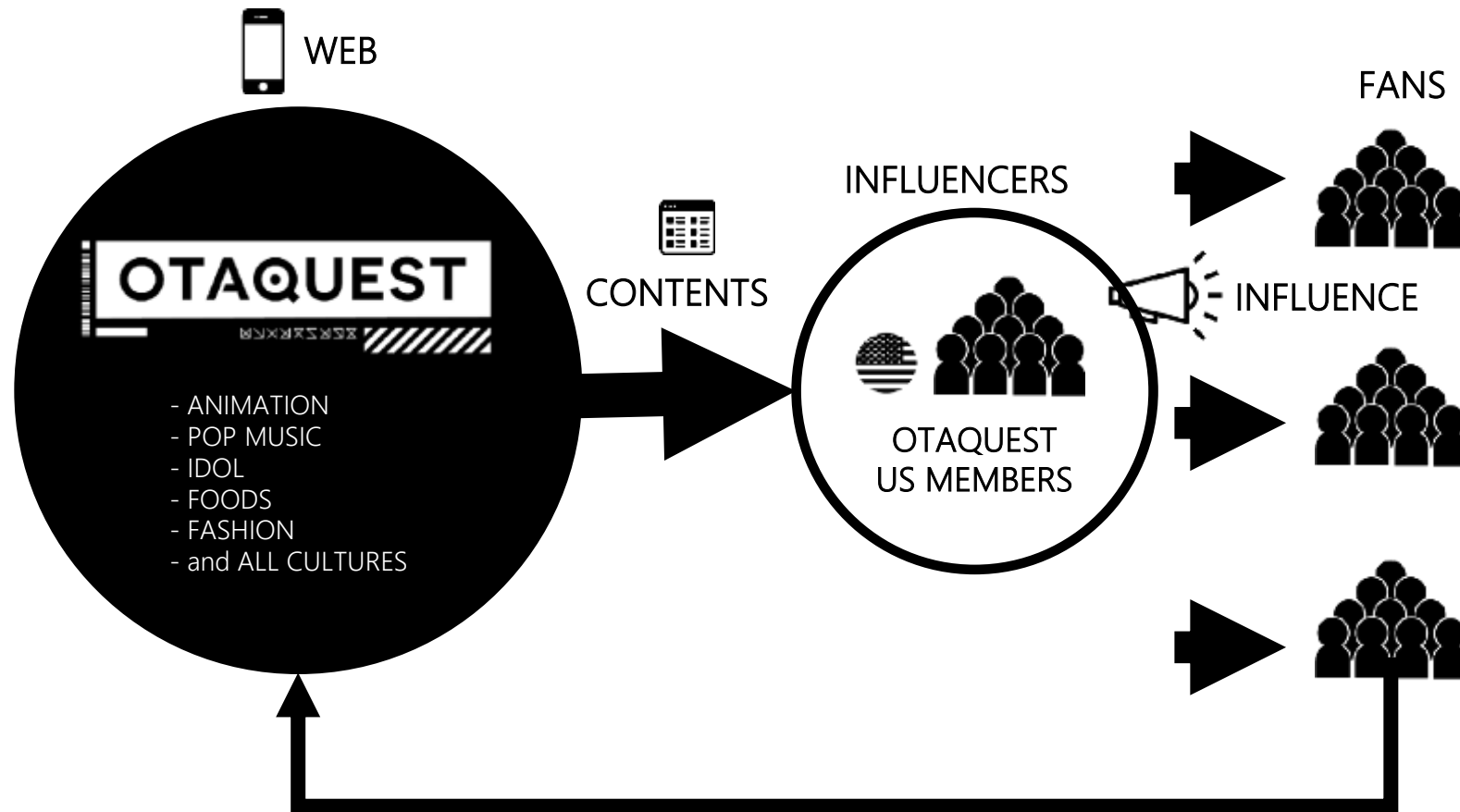
	単位：%	
	全目的	観光目的
空港の観光案内所	16.0	20.5
観光案内所(空港除く)	16.6	26.8
宿泊施設	15.9	20.5
旅行ガイドブック(有料)	11.4	19.6
フリーペーパー(無料)	5.0	7.8
インターネット(パソコン)	35.4	34.2
インターネット(タブレット)	18.9	23.1
インターネット(スマートフォン)	48.1	58.3
日本在住の親族・知人	34.3	30.0
その他	3.7	3.5
特になし	10.7	5.5

※上の数値は、全て複数回答の結果である。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査(平成27年)」に基づき日本政府観光局(JNTO)が作成

「OTAQUEST.com」を起点に、米国のファンをネットワーク化

これらの市場のニーズに応え、OTAQUESTは
米国を中心に日本のポップカルチャーの架け橋となります



米国の大型アニメフェスとのコラボ アフターパーティーやEDMイベントの共催



「アフターパーティー」と称するイベントが併設されることが、米国のアニメコンベンションでは定番です。☆Taku Takahashiは日本DJランキングで1位とされたこともあり、そして「Anime Geek(オタク)」に対しての造詣が深いことが知られており多くのアニメコンベンションのアフターパーティーに参加招聘を受けております。

DJとして参加するだけでなく、☆Taku Takahashi自らがこの音楽イベント内にて、隣接する出展ブースに観客への来訪されるようなアプローチを行ったり、その他日本人アーティストの出演のブッキング協力を行いメインステージ内のイベントで「日本コーナー」をセッティングする事を進めています。
将来はサブステージを、話題の日本のニューカマーステージとしてプロデュースしていくことを視野に入れた活動としたいと思います。



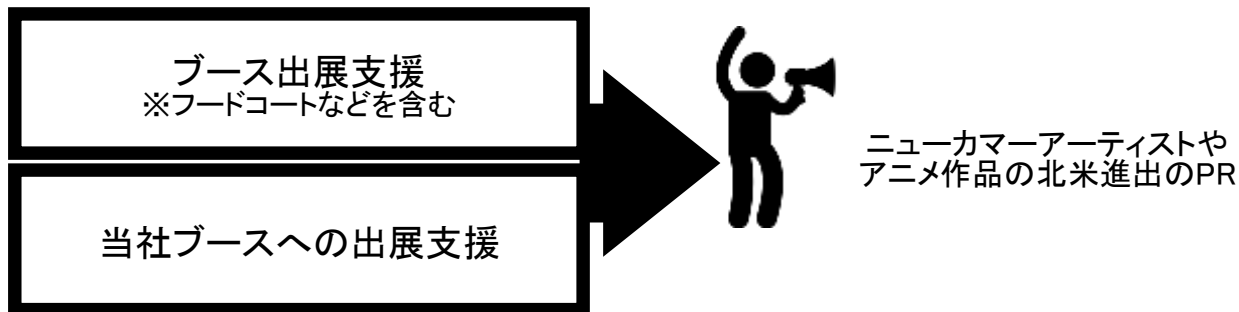
海外コンベンション出展/主催、国内企業の出展支援

日本のポップカルチャーを紹介するブースを北米のアニメコンベンションで、日本のキャラクターなど展示、興味喚起を図るブースを出展。カドカワ、NHK、東宝、バンダイなど連携して多くの新しい日本のキャラクターコンテンツの展示を実施します。展示から販売までを行い、今後の米国での展開でどのようなキャラクター商品が受け入れられるかを調査、継続的なマーケティングデータとして活用し、拡大的な事業展開へつないでいきます。

これらのコンベンションの出展ブースは、北米の日本国内からの窓口として活用が可能にし、日本からの直接出演機会を提供するとともに、国内のスタジオと会場をオンラインで繋いだ環境も提供するなど、OTAQUESTは国内クリエイターの海外進出のハードルを下げています。

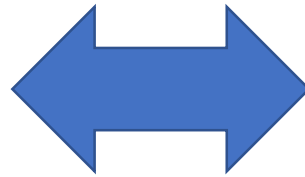


Business Solution



さらに米国各地のアニメコンベンションオーガナイザーと共に、主催者として新規コンベンションの立ち上げも推進します。

1・アニメセントラルセミナー会場と 青山のホールfuture7を オンラインでつないだライブストリーミングイベントの開催



(株)フェイスの協力により 専用線及
サーバー環境を確保し安定した
環境で東京のコンテンツを配信。

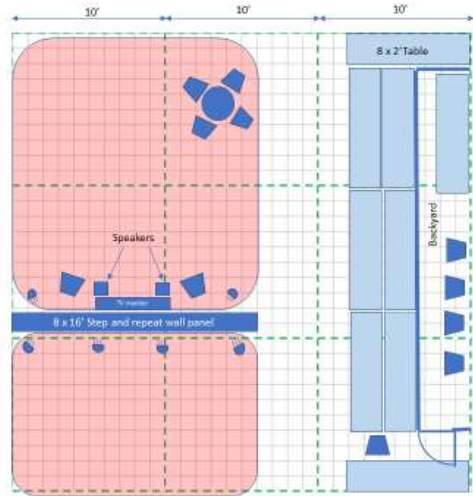
シカゴ
アニメセントラル会場

青山フューチャー7会場



エヴァンゲリオンデザイナー<貞本義行>
攻殻機動隊の脚本家<佐藤大> 出演予定

2・ブース出展



9 m× 9 m で出展予定 さらに3コマ12コマまで拡大可能

9 m× 3 m で ステージ&大型テレビモニター を設営し 映像及びライブのパフォーマンスを開催します。オンライン出演 映像出演 及び1グループを生出演予定。日本の地域を紹介するために日本の どの地域出身であるかを強くアピールいたします

9 m× 6 m で 日本のキャラクター商品の展示を行います。ガチャガチャも10台ほど設置し興味喚起を図ります。日本のコンテンツ事業者の皆様に対して 一般ブースの紹介とともにトライアルの形でこのブースにコーナーを設置することも可能です。

3・音楽イベントの運営



昨年度は5千人を収容する音楽イベントに成長
本年度はさらに規模が拡大することが予測

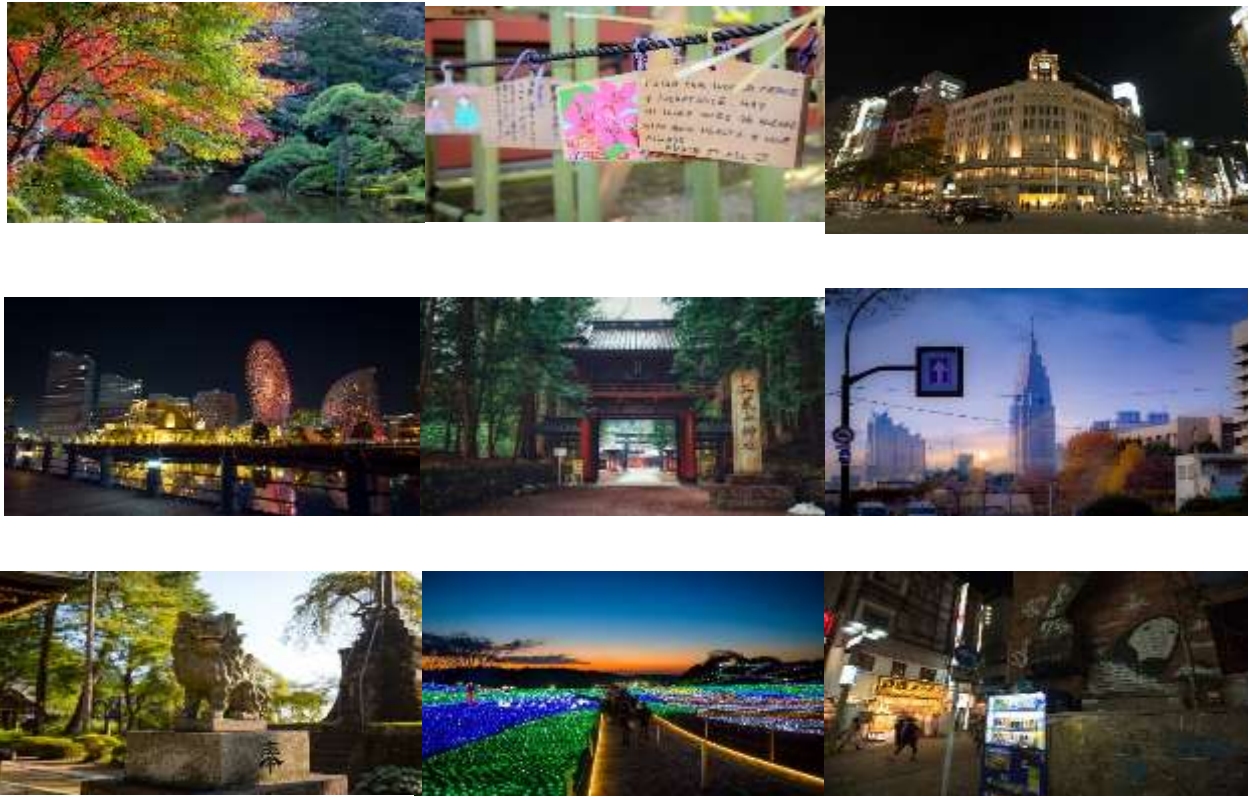
「Taku Takahashi」はメインアクトとして参加。
日本のアニメ主題曲などをリミックスしたダンスミュージックをプレイ。
その他4バンドほどイベントには出演予定。

4・アイドルを活用した地域活性化



Victor Gonzalez

日本在住の映像作家 アイドルオタク
アイドルとともに、出身の地域を紹介する映像を制作し
現地及びオンラインで活用いたします



※ 彼の映像作品のキャプチャ

THANK YOU!

OTAQUEST

Launching May 2017

www.OTAQUEST.com

Subscribe Now

お問い合わせ先

moriwaki@block.fm

OTAQUESTの最新情報をお届けするメールマガジンを先行登録受付中です。

是非ご登録ください。